



**1 課題** ため池等の農業水利用施設の点検・状況把握において、人手不足、災害発生時の迅速な状況把握及び安全性の観点で課題がある。

**2 概要** 農業水利用施設の自動点検に向けたドローンの構築による効率化・省人化、安全化を図る。

大学 **筑紫 彰太**  
近畿大学  
工学部ロボティクス学科 講師



市担当課 ×  
**産業部**  
**農林整備課**

関係機関 ×



▲研究イメージ

現在の状況（令和6年4月末時点）（単位：箇所）

内訳	ため池数
防災重点農業用ため池	1,769
防災重点農業用ため池以外	1,879
合計	3,648

※箇所数については、現場状況などを県・市が確認し、随時変更している。

▲東広島市にあるため池の内訳

赤防株式会社

3 到達目標・方法

- (1) マルチモーダルセンサ情報を用いた異常（堤体崩れ）検知手法の構築
- (2) マルチモーダルセンサ情報を用いた異常（堤体水漏れ）検知手法の構築
- (3) 計測情報に基づいたドローンでの自動点検手法の構築